

# 第9回 <sup>シオファ</sup> SIOFA（南インド洋漁業協定）年次会合の結果について

## 1 開催日時

- 対面（レ・ユニオン（仏領））及びウェブ会議形式で開催。
- 令和4年7月4日（月）～7月8日（金）

## 2 参加メンバー等

- 日本、豪州、モーリシャス、EU、中国等の11の国及び地域。
- 我が国出席者：野村農林水産省顧問（我が国代表）ほか、水産庁、外務省、水産研究・教育機構及び関係業界等。

## 3 結果概要

### （1）底魚資源の既存漁場図（フットプリント）の継続審議

本年3月の科学委員会（SC）において作成された底魚資源の管理措置の検討の基礎となるフットプリントを暫定的に承認し、技術的な調整等について、来年のSCで議論することとなった。

### （2）浮きはえ縄船への海鳥混獲回避措置の拡大

本年のSCの勧告に基づき、本協定の対象となる浮きはえ縄船に対して、インド洋まぐろ類委員会（IOTC）と同様の海鳥混獲回避措置を導入することが合意された（現在、底はえ縄船等に対してのみ、海鳥混獲回避措置が義務づけられている）。

### （3）次回の年次会合は、来年（令和5年）7月にモーリシャスで開催される予定。